

# あっ 温ちゃん通信

## 第5号

2018.1.20  
発行

発行・編集 やまね 温子後援会 〒739-1805 安芸高田市高宮町原田 1378  
Tel/Fax : 0826-57-1875 携帯 : 090-1180-1136  
mail address : akoyamane@gmail.com



消防出初式



たか〜いところもお任せ！  
高所作業車講習(建設業協会)



消防出初式



「女たちの討ち入りシンポ」  
NPO法人 高齢社会をよくする女性の会  
理事長 樋口 恵子さんと(12/16 日比谷にて)

## 皆様 寒中お見舞い 申し上げます

戌年の今年、皆様とともに、本年も笑顔溢れる楽しい一年となるよう頑張つてまいります。還暦を過ぎてから、なんだかとおつても過ぎて行く時間の早さを感じています。

だからこそ、「できることを、できるときに、できるところから」と、皆様の期待に応えられるように努めてまいります。

一年に4回開かれる定例会、皆様からの声をしっかりと届けることを心に決め、毎回一般質問を行ってきました。

この通信第5号では、この一年間を振り返って一般質問の成果を求めるのは難しいですが、動き出した変化を現時点でまとめてみました。

また、初めて参加した「女たちの討ち入りシンポ」から服薬に関する調査の中間報告のあらましをあげております。

調査にご協力いただきました皆様ありがとうございました。

上の写真の樋口恵子理事長からも「涙が出る程嬉しく思っております」とのお言葉をいただきました。重ねて心より感謝申し上げます。

医師一人育成するために、約1億円かかる現在、お上の医療からお民の医療へと、患者として、もつと医療関係者とのコミュニケーションをとっていきましょ！

## 戌年、公約の実践へ

新たな年が始まりました。  
平成28年11月に改選されて一年余り経過しました。

当選証書を手にした18名の議員諸氏は戦いを通して「人口減対策、農業振興・拡充、財政健全化、議会改革などの実現に努める」旨、市民に約束されました。

私は、近頃、一般質問などの傍聴をしていません。

以前に市議会が実施されていた議会報告会は、市民にとって市政や議会の動きを知り得る貴重な機会であり、議員さんと親しく対話するチャンスでもありました。私共が求める議員さんは、聞く・活動・結果の報告が出来る人だと思えます。適切な表現でないと思えますが、諺に「犬も歩けば棒に当たる」という言葉を聞いたことがあります。地域の見廻り活動や集落常会などの出会い活動が市民との隔たりを短くするのでは…。

議員諸氏が公約された諸々の課題に汗して取り組み、市民の思いを市政に反映して下さい。

議員諸氏のご活躍を祈念申し上げます。

NPO法人高齢社会をよくする女性の会より調査御礼です。毎年恒例の討ち入りシンポで中間報告がありました。

# 歳末東京名物【女たちの討ち入りシンポ】

## 聴け！感激の5千票の声

### ～調査が拓く高齢者の医療と健康の未来～

「NPO法人高齢社会をよくする女性の会」の樋口恵子理事長が、この度の「高齢者の服薬に関する実態調査」を行なった背景には、厚生労働省の「高齢者医薬品適正使用検討会」の委員として、高齢者の声を届けたいとの強い思いがあります。この検討会の委員構成は、19人中17人が医師・薬剤師・看護師の医療系委員ばかり。高齢者の生の声を届けなければと全国の会員等に要請され、皆さまのご協力でなんと5千票を超えました。安芸高田市においても、10月中旬から月末までという急なお願いに、百名近くの方が答えてくださいました。本当にありがとうございました。

昨年12月16日、私も初めて討ち入りシンポに参加し、中間報告を聞きましした。下記に調査結果のあらましを掲載しました。実際はグラフを使つての報告でしたが、紙面の都合でお許し下さい。

今後の厚労省の検討会において発表される予定のことでした。



## 調査結果（中間報告）

フェイスシート  
(調査に協力いただいた方々の属性)

1. 男女割合  
女性が69%を占めた。
2. 年齢別割合  
65～74才と75才以上が半々、内80才以上が23%を占めた。
3. 家族構成  
一人暮らしと夫婦のみが合わせて64%を占めた。
4. 健康状態  
まあまあ健康な方が8割弱

自由記述欄には2割強の方に書いていただき、主な点が以下の7点でした。

1. 多種類の服薬に関する不安と疑問
2. 医師の処方に対する不安・疑問と要望
3. 医薬分業への不満
4. 保険財政の無駄使いへの危惧
5. 金銭的負担の訴え
6. 総合相談窓口などの設置要求
7. 薬に依存している医療行政への疑義



### 問1 この1年間に通った病院の数は？

まあまあ健康だけど病院に通う方が多い。  
1～2ヶ所が67%、最大10ヶ所あり。

### 問2 この1ヶ月に処方された常用薬は何種類？

1～2種類が30%、3～4種類が26%と多いが、最大18種類の方も。75才以上になると種類が増える傾向。

### 問3 この1ヶ月に常用している市販薬の種類は？

ない方が6割、多い方は10種類、最大20種類。

### 問4 病院からの処方薬の薬代は月平均いくら？

74%の方は4,000円位まで、最高は55,000円。

### 問5 市販薬には、月いくら？

買わない方が56%、5,000円未満の方は28%、最高額は10万円。

### 問6 常用薬の保管は？

自分で決まった場所に保管が74%

### 問7 病院外の薬局で薬を受け取る医薬分業システムについては？

どこの薬局でももらえて便利、どちらでも良いが7割だが、2割は行くのが困難で院内薬局希望。

### 問8 調剤薬局でもらう説明書は？

一応目を通す、しっかり確認する方が7割近く。

### 問9 服薬管理は？

全て自分で管理が89%

### 問10 自己管理できなくなったら、家族以外で誰に頼む？

ヘルパー24%、誰もいない27%

### 問11 日頃の服薬生活は？

決められた通りに飲む方が43%、うっかり飲み忘れる方は19%

### 問12 日頃の服薬生活での不安や心配事は？

不安や心配がないが50%、何種類も飲んでおり副作用が心配12%、飲み忘れて影響はないかが10%

### 問13 調剤薬の飲み残しは？

飲み残さないが42%、たまにあるが38%、意識的に飲み残して溜める方や捨てる方は合わせて3%

### 問14 問13で意識的に飲み残している理由は？

薬の飲み過ぎが心配53%、次のために予備にとっておく方も。

### 問15 薬に関して医療関係者に希望することは？

希望はないが30%、副作用の説明をして欲しいが20%、処方薬の種類を少なくして欲しい16%、長期分の薬を出して欲しい11%、不安解消の窓口設置、飲み合わせの可否、薬の一包化希望などあり。

### 問16 製薬会社に希望することは？

説明書を読みやすく、色や形を間違えない工夫、飲みやすく、タブレットを開けやすく、飲み忘れ防止の工夫をなど。

### 問17 ジェネリック医薬品についての意見は？

積極的に利用・どちらでも良いを合わせて57%、あまり利用したくないも1割強。

### 問18 おくすり手帳については？

1冊持っている75%、2冊以上持っている11%とおくすり手帳を知っている人は99%

### 問19 おくすり手帳の活用については？

活用している方52%、薬剤師が薬の重複チェック35%、薬局で聞かれるので持っているだけという方も。

### 問20 かかりつけ薬局については？

よく知らないが26%、顔見知りの薬局の相談で十分23%、病院より薬局の方が気軽に相談できる13%、医師に不安や希望を伝えてくれるなら12%など。



# これまでの **一般質問** と、その後の変化

定例会 開会年月	一般質問内容(要約ポイント) その後変化のあったものについては、 <b>太字</b> で表示しています	その後の変化
平成28年 第4回 12月定例会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市長出張旅費問題について</li> <li>2. 糖尿病性腎症重症化予防プロジェクトについて</li> <li>3. 企業留置に向けた支援について</li> <li><b>4. 農地法第3条下限面積の引き下げ</b></li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 農地法第3条の農地の貸借・売買にかかる下限面積が10アールに引き下げられました。(H29年6月)</li> </ol>
平成29年 第1回 3月定例会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て環境について ・遊べる場としての施設、園庭開放、「放課後子ども総合プラン」の実施は。</li> <li>2. 子育て支援について ・子育てのワンストップサービス「安芸高田市版ネウボラ」を。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 広島県は2021年度までに県内全23市町へのネウボラ設置を見込んでいます。本市の設置計画は？</li> </ol>
平成29年 第2回 6月定例会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. トイレとまちづくり ・公共施設のトイレの洋式化は。 ・JR向原駅のトイレは。</li> <li>2. 危険な交差点と公共交通の利便性 ・<b>JA吉田総合病院前の交差点の安全確保は。</b> ・公共交通と学生の通学の利便性は。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 三次河川国道事務所によりJA吉田総合病院前の歩道のカラー舗装、吉田総合病院により注意看板設置、学校では交通安全指導がされました。(10月)</li> </ol>
平成29年 第3回 9月定例会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 未来に向けた教育 ・いじめや不登校の現状と義務教育終了後の状況把握は。 ・教育環境整備と登下校時の安全は。 ・<b>ICT社会に向けた教育は。ICT教育推進を提言</b></li> <li>2. まちづくりと地域振興組織 ・<b>地域振興組織との協働のまちづくりは。</b></li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市長と教育委員会との会議(総合教育会議)において、ICT教育について具体的な協議がありました。(12月14日、議会からも9名傍聴)</li> <li>2. 生活支援員制度は地域振興組織との連携もある中で、現在進行中。</li> </ol>
平成29年 第4回 12月定例会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. お太助情報キットの活用は。</li> <li>2. 医療環境の変化の中で、地域医療を守り支える中核病院としてのJA吉田総合病院への支援は。</li> <li>3. 「親の力」をまなびあう学習プログラム(通称「親プロ」)の活用と今後の取り組みは。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今後更新・定着に取り組む</li> <li>2. 必要に応じて適切な支援を講じる</li> <li>3. 受講対象の開拓を図る</li> </ol>

## ちよつと 温ちゃんの一言

平成29年12月7日の定例会本会議において、人事院勧告を準用した特別職(市長・副市長・教育長)三役と市議会議員の期末手当(ボーナス)の引き上げについての二つの議案に反対し、反対討論を行いました。

これまで私も賛成してきましたが、地域振興会への補助金カットなど厳しい財政状況のしわ寄せが市民の皆様の生活に影響してきています。改めて見れば、人事院勧告は労働基本権を制約されている(ストライキなどの争議行為が禁止されている)国家公務員のためのものであり、同じ制約のある市職員に準用することは理解します。

しかし、特別職三役と議会は、厳しい財政状況を認識し、人事院勧告を漫然と準用するのではなく、身を律して市政運営に当たるべきであり、今回の影響額三役と議員合わせて98万円は市民のために使うことを考えるべきだと反対しました。反対討論は私のみで、賛成討

論の倍返しに認識の違いを痛感した1日でした。

何を、いつ、どこから、誰が改革して行くのか、市民の代表としての私たちそれぞれが考えていかなければならないことだと思います。私が痛感した翌日に江田島市議会が全会一致で否決したという記事が平成29年12月9日の中国新聞に掲載されました。以下に引用します。

江田島市議会は、12月8日の定例会本会議において、人事院勧告に沿った市議の期末手当引き上げについて全会一致で否決した。年68万円の削減につながるという。反対討論に立った議員は、「議員は改革に率先して取り組まなければならない立場にある。」と主張し、他の全ての議員も引き上げに反対した。議会後、議長は「人口減少が続き、厳しい財政事情を抱える市の状況を考えた議会の総意だ。」と話した。

# 指標から見た安芸高田の財政 (2) 経常収支比率

市町村や都道府県の財政をチェックするために、さまざまな指標が作られています。

今回は安芸高田市の財政力、基礎体力を示す財政力指数を見ました。財政力指数は右肩下がりの傾向にあり、財源の3/4近くを国・県からの仕送りや借金に頼る財政です。また、県内類似市等の中でも合併した市の財政力指数は、どこも0.3前後と近い数値です。今回は財政の弾力性を表す指標と言われる経常収支比率から見てみます。

## (2) 経常収支比率

経常収支比率は、「地方財政のエンゲル係数」とも言われ、財政の弾力性を表します。

家計に占める飲食費の割合がエンゲル係数ならば、自治体にとっては、毎年きちんと一定額が入り自治体の裁量で自由に使える財源（家計で言えばお給料）に占める毎年必ずかかる支出（家計で言えば食事、住宅ローン、光熱費など）の割合を示すものが経常収支比率となります。

この数値は%で表され、数値が低いほど、「投資」できるゆとりがあるとされます。

以下が、数値の判断基準です。

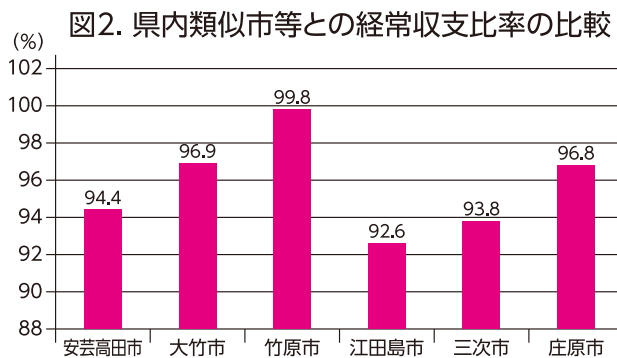
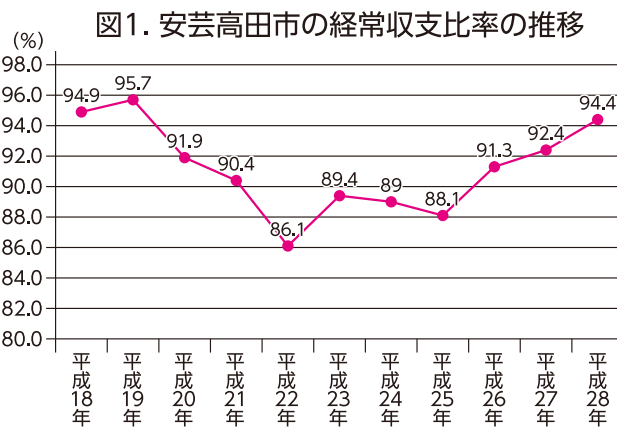
- 70～80% 適正
- 80～90% 弾力性をやや欠く
- 90～100% 弾力性を欠く
- 100%以上 硬直化＝新たな投資的経費がない

余談ですが、エンゲル係数が高いほど、食費以外にお金をまわすゆとりがないので生活は苦しいとされています。戦後の60%台から生活が豊かになるにつれて下がり、近年は20～30%で推移しているようです。さらに、食品価格の上昇や共働き世帯の増加で、調理食品などの購入が増えたこともあり、上昇傾向にあるとされています。

安芸高田市の平成28年度の経常収支比率は94.4%でした。図1のように平成22年頃には80%台に下がってきていましたが、26年からは上昇傾向です。

図2は、県内の人口の類似した市（大竹市、竹原市、江田島市）や近隣市（三次市、庄原市）と比較したものです。大竹市、竹原市は合併をしていない市、江田島市、三次市、庄原市は合併した市です。

前回、財政力指数が高めの大竹市と竹原市。一般的には、財政力指数が高いと経常収支比率は低いと考えられますが、意外にも経常収支比率で見ると硬直性が高いことが見られます。



参考文献：  
・大和田一統・石山雄貴(2017)四訂版「習うより慣れるの市町村財政分析」

**あとながき**

「猫が犬の飼育頭数を初めて上回る」  
昨年末の新聞記事を見て驚きました。

ペットフード協会では、犬はしつけや散歩が必要のため、敬遠されたのではないかとのことです。

今年も成年、犬は番犬や猟犬だけでなく、いろんな分野で活躍し、伴侶動物としても人の心を癒してくれています。

改めて、犬を見つめ直す年にしていきたいと思います。

ともあれ、これからも、温予議員に対する皆様のご支援・指導を宜しくお願い致します。

